



二大中だより

江東区立第二大島中学校
令和8年9月1日発行
第6号
<https://2dai-chu.koto.ed.jp>

実りの秋に向けて

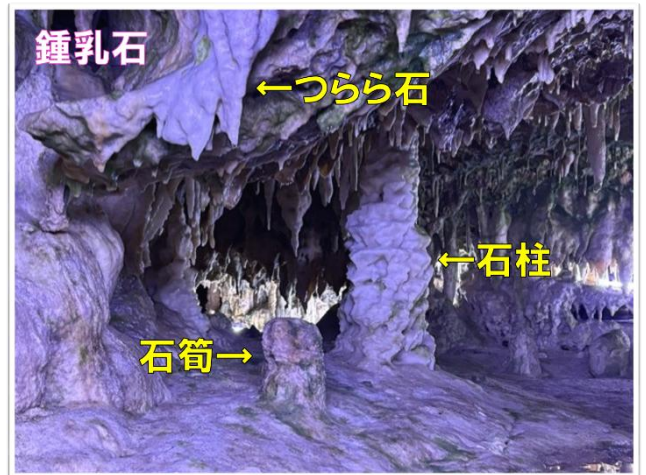
校長 西田 明史

《全校集会講話より》

夏休みも終わり、今日から前期後半の始まりです。今年から、最高気温が40度以上の日は、酷暑と呼ばれるようになりました。近年、日本では40度を超える気温が毎年のように観測されるようになり、特に危険な暑さであることを伝えるために導入されました。残暑もまだまだ厳しいですが、二大魂、いつでも「心と体を鍛える」を意識して、「早寝・早起き・朝ご飯」の規則正しい生活で、学校生活のリズムを取り戻してください。

夏休みは、自分のために使える時間がたくさんあるので、体験的な学習をするチャンスと伝えましたが、どうだったでしょう。私の体験を2つ紹介します。

1つは、岐阜県にある、「飛騨大鍾乳洞」の見学です。日本全国に観光鍾乳洞は約80ヶ所ありますが、その中で日本一の標高900mに位置します。鍾乳洞は、石灰岩が二酸化炭素を含んだ雨水や地下水に溶かされてできた洞窟で、円錐状もしくは円筒状の鍾乳石があります。石灰岩を溶かした水が洞窟の天井からポタポタと落ちるとき、水分が蒸発して再び個体となって鍾乳石ができます。鍾乳石は、天井から伸びている部分を「つらら石」、地上から伸びている部分を「石筍（せきじゅん）」、「つらら石」と「石筍」がくっつくと



「石柱」と呼びます。鍾乳石は、100年に約1cm程度成長するのが一般的で、この石柱ができるには、いったいどれくらいの時間がかかったのか、遙かなる時の流れを感じました。同時に、今日一日を大切に生きなければならないと思いました。

もう1つは、日本科学未来館、大南極展の見学です。南極は、地球上で最も寒く、最も乾燥し、最も強い風が吹く大陸で、1983年には、地球上で観測された過去最低気温、マイナス89.2℃を記録しました。

また、南極は最大4000mを超える厚さをもつ「氷床」と呼ばれる氷に覆われています。南極大陸の面積は、約1400万平方キロメートルで、日本の約37倍ですが、その大部分が氷床に覆われています。その氷床は、1992年以降減少し続けています。南極大陸の上にのった氷がとけると、そのとけ水はそのまま世界の平均的な海水面の高さを上昇させます。そしてもし、南極の氷床が全てとけた場合、江東区は海の底です。地球温暖化は、なんとしても食い止めなければなりません。

温暖化の主な原因は、私たち人間が出す二酸化炭素です。二酸化炭素が地球の上空をおおい、「温室効果ガス」となることで、地球が温められ、気温が上がってしまいます。

江東区は 2050 年までに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指しています。小学生の時に、「カーボンマイナスこどもアクション」に取り組んだ人も多いと思います。

電気をこまめに消してムダな電気を使わない、大量消費をやめてゴミを減らす、エコバッグやマイボトルを使うなど、日々の生活での小さな行動を積み重ねて、二酸化炭素を出す量を減らしたいと思いました。

みなさんも、夏休みの体験的な学習をこれからの生活に生かしてください。

また、2年生は移動教室、3年生は修学旅行、学校全体では文化発表会など、大きな行事があります。行事は、自分自身を大きく成長させるチャンスです。このチャンスをしっかりとつかみ、チャレンジを続け、今ある自分からよりよい自分にチェンジする、実りの秋としてください。

保護者や学校関係者等の皆様へ 文部科学大臣メッセージ 令和8年8月

今、子供たちの自殺は、極めて深刻な状況にあります。そして、特に長期休業明けの前後には、子供の自殺者数が増加する傾向にあります。子供たちの自殺を未然に防ぐには、保護者や学校関係者をはじめ、子供たちと身近に接しているみなさまに、子供たちの態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただくことが、大変重要だと考えております。

- ・これまで関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・成績が急に落ちる
- ・物事に集中できなくなる
- ・身だしなみを気にしなくなる
- ・健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える
- ・友人との交際をやめて、引きこもりがちになる

といったようなサインが見られたら、いつも以上に子供に寄り添い、注意深く見守って、子供の思いを受け止めていただきたく存じます。一人一人の働きかけが、悩みや不安を和らげるとともに、日頃の温かいコミュニケーションによって、何か困ったときに相談できる子供たちとの信頼関係づくりにつながります。各種相談窓口もありますので、ご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

そして、学校関係者のみなさまにおかれましては、不安や悩みを抱える子供たちが孤立することのないよう、学校、家庭、地域、福祉部局、警察、医療機関などの関係機関で緊密に連携し、地域全体で支援していただきますようお願いいたします。

文部科学大臣としても、子供たちが安心して学ぶことができるよう、皆様と共に、取り組んでまいります。



電話やメール、ネット等の相談窓口

生徒の活躍

□水泳部

第50回関東中学校水泳競技大会

女子 50m自由形 第8位 女子 100m自由形 第6位 中村希美

□吹奏楽部

第59回東京都中学生アンサンブルコンテスト 銀賞

第66回東京都中学生吹奏楽コンクール 銀賞

□ソフトテニス部

第37回江東区ジュニアソフトテニス大会女子の部 第3位 佐藤・石井ペア

□バレーボール部

シード権大会 第3位

